

# 人工関節置換手術 最新現場を追う

月～金掲載 ②

股関節や膝関節に問題が生じると、動きが悪くなり、歩行時などに痛みが起ることで、日常生活に支障をきたす。そうした問題を改善するための選択肢の一つが「人工関節置換術」だ。

「膝関節疾患には、変形性ひざ関節症、大腿骨内顆骨壊死、関節リウマチなどがあります。中でも一番多い変形性膝ひざ関節症は、加齢性が主な原因となる一次性と、外傷などで変形を生じる二次性があります」。



そう説明するのは、熊本機能病院(熊本市)人工関節センター長の高橋

治療方針について、日産厚生会玉川病院・整形外科副部長の柳澤克昭医師③は次のような指針を示している。「膝の痛みには、関節の外の痛みと中の痛みと、大きく分けて2つあります。膝の関節は筋肉が非常に少ないので、筋

肉性の痛み、いわゆる腿・腱周囲炎の方もたくさんいます。また、ひざの内側の痛みでは、軟骨がすり減り、関節の中で痛みを起している場合も多いですが、患者さんは何の痛みかわからない。

関節の外または中か  
主な治療方法は以下の通りだ。



変形性ひざ関節症のエックス線画像

①リハビリテーション：膝の痛みにも最も有効なのは、実はリハビリ。歩き方のクセや、痛みを回避する動作によって、筋肉の偏りを生じ、余計に痛みが増している場合もある。「単置換型(部分置換)で筋肉のバランスを整えるところから始める」。

②注射・足底板：リハビリで改善しない場合、足底板(インソール)やヒアルロン酸ナトリウム注射、ステロイド、鎮痛剤等を使用することになる。「かつて人工関節置換術は、歩行時に痛みが生じ、余計に人工関節置換術が行われ、痛みが増している場合もある。」「単置換型(部分置換)で筋肉のバランスを整えるところから始める」。

③手術：軽症の段階や若い人、スポーツをしてる人などの場合には、まずはおちつきと通リだ。①リハビリテーション：膝の痛みにも最も有効なのは、実はリハビリ。歩き方のクセや、痛みを回避する動作によって、筋肉の偏りを生じ、余計に痛みが増している場合もある。②注射・足底板：リハビリで改善しない場合、足底板(インソール)やヒアルロン酸ナトリウム注射、ステロイド、鎮痛剤等を使用することになる。③手術：軽症の段階や若い人、スポーツをしてる人などの場合には、まずはおちつきと通リだ。

# 膝の何が痛むか診察・鑑別を

(田幸和歌子)

「ひざの関節は3つの部位からなっており、1カ所だけ変形がある場合は部分置換、2カ所以上の変形がある場合は全置換を選択することが多いです。日本人の特性か、変形が少ないうちに保存的治療をすると、それで痛みが耐えられる人は多く、痛みが非常に強くなった時点で全体の変形が強くなっていて全置換術になる場合が一つ。また、全置換のほうが、合併症が少ないという医師の安心感もあります」

人工関節置換術は、筋力が落ちる前の若い頃に受けたほうが、満足度が高いというデータもある。早期にあらゆる手を打った上で筋力が衰える前に、と考える人が増えているようだ。

高橋医師。また、柳澤医師はこう語る。